

アルツハイマー病の進行を緩やかにする 新しい注射薬が登場しました

ドナネマブ（ケサンラ®）は、アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制を効能又は効果とする、新しい治療薬です。
当グループではこの薬を安全・適正に使用できるよう、MCI（軽度認知障害）外来を設置しています。



受診から投与までの流れは裏面をご覧ください

治療に際する医療費について

ドナネマブ（ケサンラ®）は、4週間毎の点滴を12ヶ月を目安に投与する治療となります。
投与開始後の評価にて、アミロイドβプラークの除去が確認された時点で、投与完了となります。

治療期間中の費用の目安《1年（12ヶ月）で完了した場合》

自己負担額	総額	1～3回目の負担額	4回目以降の負担額
3割の場合	約100万円	約4万円	約8万円
2割の場合	約67万円	約3万円	約5.5万円
1割の場合	約33万円	約1.5万円	約3万円

保険診療の適応となる治療で高額療養費制度を利用する事もできます。自己負担の限度額は、実際の投与量や、加入されている健康保険、年齢や収入等により異なります。
医療費控除や自治体による助成制度など、その他の制度を利用できる場合もあるので、くわしくは、加入している公的医療保険やお住まいの市区町村へお問い合わせください。

受診までの手続きや医療費につきまして、ご不明な点などありましたら各窓口へお問い合わせください。

<初めての受診に関するお問い合わせ>

沼田クリニック 0278-22-1188（診療情報課）
吾妻脳神経外科循環器科 0279-68-5211（診療情報課）

<薬剤、費用に関するお問い合わせ>

沼田脳神経外科循環器科病院 0278-22-5052（医療・介護総合支援センター）

受診について

かかりつけ医からの紹介状を
お持ちの方

お問い合わせ窓口

沼田脳神経外科循環器科病院

☎0278-22-5052

沼田脳神経外科循環器科病院 MCI（軽度認知障害）外来にて、詳しい検査をご案内いたします。

投与対象は臨床診断に加えて、様々な検査によって厳格に規定されています。特に重要なのが脳へのアミロイドβプラークの蓄積が認められることです。アミロイドβプラークの蓄積を証明する検査としては、アミロイドPETという核医学検査と、脳脊髄液検査（CSF）検査があります。

- アミロイドPET検査は、専用の設備が必要となるため、当院と提携している医療機関へご紹介させていただきます。
- 脳脊髄液検査（CSF）を行う際には腰椎穿刺が必要となります。
腰椎穿刺とは、腰のあたりから針を刺して脳脊髄液を採取する方法です。まれに合併症が生じるため、検査の際は短期入院をご案内しております。

専門医が総合的に検討し
投与の対象に該当するか
否かを判断します。



初めて医療機関を受診される方、
『沼田クリニック』または
『吾妻脳神経外科循環器科』
にて通院中の方

お問い合わせ窓口

沼田クリニック

☎0278-22-1188

吾妻脳神経外科循環器科

☎0279-68-5211

診療担当者がお話を伺い、適応について判断すべく、投与開始前チェックシートをもとに問診や、簡単な記憶力の評価、頭部MRIによる評価を行います。

【投与をご検討いただける方】

アルツハイマー型認知症による軽度認知障害
及び軽度の認知症の患者さん

※問診、検査結果次第では、ご希望に添えない場合もあります。

投与対象はアルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の方に限定されます。

受診の結果投与できる可能性が認められた場合、さらに専門的な評価を行うため、「沼田脳神経外科循環器科病院 MCI（軽度認知障害）外来」へご案内させていただきます。

投薬開始

ドナネマブ（ケサンラ®）は、4週間に一度、少なくとも30分かけて点滴静注で投与します。初回投与時は、副作用の出現などに注意が必要となるため、入院していただき投与を行います。二回目以降は外来にて投与可能ですが、投与終了から30分程度、観察のため院内にて待機していただきます。

投与後に発熱や関節の痛みといったアレルギー反応が出る場合がありますので、解熱鎮痛剤を処方します。また、投与開始から半年程度は脳の腫れや脳の出血などの副反応を生じる可能性があるため、定期的なMRI検査が必要です。